

2. 整備事業
産地競争力の強化に向けた取組用

(山梨県 平成27年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)	メニュー	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				現状値(平成23年度推計値)	1年後(平成24年)	2年後(平成25年)	3年後(平成26年)	目標値(平成26年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
				山梨県	山梨県	鳥獣被害防止施設 水稲 ぶどう もも なす等 ニホンザル イノシシ ニホンジカ	被害軽減率-30%	被害面積 62.8ha 被害金額 73,868千円	被害面積 64.5ha 被害金額 83,806千円				被害面積 61.8ha 被害金額 71,384千円	被害面積 59.9ha 被害金額 68,977千円	被害面積 44.0ha 被害金額 51,708千円	被害面積 15.4% 被害金額 22.1%				
甲州市	甲州市	鳥獣被害防止施設 ブドウ もも スモモ ニホンザル イノシシ ニホンジカ、	被害軽減率-30%	被害面積 2.21ha 被害金額 4,105千円	被害面積 1.99ha 被害金額 3,695千円	被害面積 2.30ha 被害金額 3,600千円	被害面積 2.70ha 被害金額 3,900千円	被害面積 1.55ha 被害金額 2,874千円	被害面積 -74% 被害金額 16%	今回の事業導入による柵については、設置箇所においては被害対策上大きな効果が認められたが、市全体では、未設置箇所において被害が深刻であり、被害金額の若干の減少にとどまった。	鳥獣被害防止施設 電気柵増設(4段) L=4,408.8m	71,780,100	35,000,000		36,780,100	平成25年 3月22日	防護柵の整備により設置箇所における被害は減少した。更なる被害の減少と対策の継続性を目指し、今後は市全体への防護柵の設置を行っていく必要がある。	目標年度(H26)における被害金額及び被害面積については、侵入防止柵の実施箇所においては成果が見られた。しかし、ニホンジカの生息数増加等により、侵入防止柵が実施されていない地域において被害面積が増加したことから、達成率は低くなった。今後、市や関係機関と連携し、侵入防止柵の実施とあわせて、地域ぐるみの被害防止活動や捕獲活動を強化し、現状の改善に努める。		

都道府県平均達成率	-5.13%	侵入防止柵を実施した箇所については、効果が見られ、達成率も高くなっている。県全体の被害状況調査でも様々な対策の実施により、被害金額は減少していることから、徐々に対策の効果は現れている。しかし、甲州市において近年のニホンジカの生息数増加等により、侵入防止柵が実施されていない地域において被害面積が増加したことから、結果として平均達成率は低くなった。今後、市町村や関係機関と連携し、被害対策をさらに強化して、被害の軽減を図る必要がある。
-----------	--------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2の に準じて作成すること。
2 要領第1の1の(2)の(ア)から(ウ)の場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標等の達成率の平均値とする。